



しおりダウンロード



カトリック五反城教会聖年巡礼

～福井・金沢・富山～

同行司祭：ハヨン・アルディ神父様（カトリック五反城教会主任司祭）

2025 年 9 月 23 日（火・祭）～ 24 日（水）2 日間



旅行企画実施：パウラスランニング

東京都知事登録旅行業第 2-8026 号（一社）全国旅行業協会（ANTA）正会員
155-0033 東京都世田谷区代田 6-18-17 下北沢 apartments E

TEL:080-5050-0235 FAX:03-6794-3343（緊急時 TEL）

Mail:info@paulaplan.com <https://paulaplan.com>

目次

ご出発・お帰りのご案内	3
行程表	4
諸注意	8
緊急連絡先・9月23日平均気温	9
祈り	10
毎日の祈り（ミサ用）	13

ご出発のご案内

ご出発日	2025 年 9月23 日（祭日・火）
集合時刻	朝 7:50
集合場所	JR 名古屋駅 西口 銀時計前
	8:00 に太閤口より専用バスにて北陸に向かいます
現地集合について	11:00 カトリック福井教会にご集合ください。
*添乗員（中村）が同行いたします。 ☆出発当日連絡先 T E L : 080 - 5050 - 0235（中村）	

お帰りのご案内

ご帰着日	2025 年 9 月 24 日（水）
現地解散	JR 富山駅 14:30 頃出発
解散場所	JR 名古屋駅 19:00 頃到着予定
道路状況により遅れる可能性もあります。 カトリック五反城教会経由 JR 名古屋駅になる場合もあります。	

1日目 9月23日(祭日・火)

都市名	時間	交通機関	行 程
JR 名古屋	07:50 08:00	専用バス	JR 名古屋駅 西口銀時計前集合 太閤口より専用バスにて福井へ 途中休憩あり
福井	11:00 12:00		カトリック福井教会訪問（ロザリオ） 現地合流の方と合流 福井駅周辺にてご昼食
金沢	14:30 15:00 17:00 19:00	徒歩	聖霊修道院聖堂訪問（シスターによる聖堂案内・十字架の道行き・黙想・各自祈りなど） カトリック金沢教会訪問（ミサ予定・アルディー神父様司式） 金沢市内ホテルチェックイン 近江町市場散策 夕食
食事 / 昼：○ 夜：○			
夕 食： 場 所：		お部屋番号	
(24日) 朝 食：		団長お部屋番号	
出 発 時 刻：		添乗員部屋番号	
MEMO			
宿泊ホテル		天然温泉加賀の宝泉 御宿野乃	
		〒 920-0917 石川県 金沢市下堤町 1 番 1 TEL：076-223-5489 FAX：076-223-1160	

1 日目行程



2日目 9月24日(水)

都市名	時間	交通機関	行 程
金沢 高岡	08:00	専用バス	ご朝食後、ホテル出発 カトリック高岡教会（ミサ予定・早川神父様司式予定） *巡礼指定教会ではありません ご昼食（富山湾鮨予定）
	09:30		
	11:30		
富山	13:00		カトリック富山教会訪問（黙想・振り返り・分かち合いなど） 周辺散策（富山 池田屋安兵衛商店など）
	14:30		
名古屋	19:00		JR 富山駅 現地解散の方はここで解散 名古屋に向けて出発 途中休憩 JR 名古屋駅にて解散 （途中五反城教会経由になる場合もあります）
食事 / 朝：○ 昼：○			
MEMO			

2日目行程



諸注意

◆バスについて

- * 2日間ともに現地では同じ専用バスを利用いたします。
- * バス車内にはゴミは放置せず、各自持ち帰るようお願いいたします。

◆服装や持ち物について

- * 各自ロザリオをご持参願います。
- * マスクの他、体温計や除菌スプレー、除菌ウェットティッシュなどは必要に応じて各自ご用意ください。（体温計は添乗員も持参いたしますので、検温が必要な方はお声がけください）
- * 見学場所等を散策するため、動きやすい服装、履きなれた靴でお越しください。訪問地の教会などで靴を脱ぐ場合、脱ぎ履きしやすい靴や簡易スリッパの持参をおすすめいたします。
- * 秋になり、気温も下がって来ている可能性がございます。上着や折り畳み傘、レインコートなどをご用意ください。
- * 宿泊先には、一般的なアメニティ（シャンプー類、せっけん、タオル、スリッパ、浴衣等）はそろっていますが、場所によってはリンスインシャンプーの場合がありますので、必要な方は各自お持ちください。

◇新型コロナウイルス感染症対策について

- * まだ完全に終息したわけではございませんので、ご出発が近くなりましたら、体調をご確認願います。ご出発当日のほか、ツアー中も体調に変化がないかをご自身にてご確認ください。
- * 適切な感染防止対策をとっている旅館、交通機関（専用バス）を利用いたします。
- * 同行添乗員や乗務員の健康管理に留意し、同行中の日々の健康状態も確認してまいります。適宜マスクを着用いたします
- * ツアー中に少しでも体調の異変を感じられた際には、かならず添乗員に早めにお知らせ願います。適切な対応をするとともに、万が一離団する場合はすみやかにご自宅にお戻りになれるよう手配をいたします。

緊急連絡先

ご不明な点がございましたら下記にお問合せ願います。

代理店名	パウラプランニング 東京都知事登録旅行業第 2-8026 号
住所	155-0033 東京都世田谷区代田 6-18-17 下北沢 apartments E
電話・FAX	TEL:080-5050-0235 FAX:03-6794-3343(緊急時 TEL)
メール・サイト	Mail:info@paulaplan.com https://paulaplan.com
営業時間	10:00～18:00 (平日) メールや SMS (ショートメッセージ) は休日も受け付けております

9 月 23 日の平均気温

	東京	福井	金沢	富山
最高気温	25℃	25℃	24℃	24℃
最低気温	20℃	18℃	18℃	19℃

聖年の祈り

天の父よ、

あなたは、わたしたちの兄弟、御子イエスにおいて信仰を与え、
聖霊によってわたしたちの心に愛の炎を燃え上がらせてください
いました。

この信仰と愛によって、

神の国の訪れを待ち望む、祝福に満ちた希望が、
わたしたちのうちに呼び覚まされますように。

あなたの恵みによって、わたしたちが、
福音の種をたゆまず育てる者へと変えられますように。

この種によって、新しい天と新しい地への確かな期待をもって、
人類とすべてのものが豊かに成長していきますように。

そのとき、悪の力は打ち払われ、
あなたの栄光が永遠に光り輝きます。

聖年の恵みによって、

希望の巡礼者であるわたしたちのうちに、
天の宝へのあこがれが呼び覚まされ、
あがないの喜びと平和が全世界に行き渡りますように。
永遠にほめたたえられる神であるあなたに、
栄光と賛美が世々としえにありますように。
アーメン。

福者ユスト高山右近殉教者の列聖を求める祈り

すべての人の救いを望まれる神よ、
福者ユスト高山右近は、福音に忠実に従う道を選び、
すべての地位と名誉を捨て、
祖国から追放されて殉教を遂げました。
幾多の困難を進んで受け入れ、
あなたの愛を力強くあかした右近が、
世界のすべての人の希望となり、
聖人の列に加えられるように。
(右近の取り次ぎを願い、各自の意向を沈黙のうちに捧げる)
いつくしみ深い神よ、
福者ユスト高山右近の取り次ぎによって、
わたしたちの心からの願いを聞き入れてください。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

2017年9月26日

日本カトリック司教協議会認可

能登半島地震被災者のための祈り

あわれみ深い神さま。

あなたはどんな時にも私たちから離れることなく、
喜びや悲しみを共にしてくださいます。

今回の能登半島地震によって苦しむ人々のために
あなたの助けと励ましを与えてください。

私たちもその人たちのために犠牲をささげ、祈り続けます。

そして、一日も早く、安心して暮らせる日が来ますように。

また、この震災で亡くなられたすべての人々が

あなたのもとの安らかに憩うことができますように。

私たちの主イエス・キリストによって。

アーメン。

す。

あなたをたたえるすべての天使、聖人とともに喜びのうちに賛美の歌を歌います。

殉教者

聖なる父、全能永遠の神、主キリストによって
いつもあなたをたたえ、感謝の祈りをささげます。

聖〇〇〇〇はあなたの恵みに強められ、いのちをささげて御子キリストをあかししました。弱い人間の中にあなたの偉大な力が示され、十字架の道を行く者の中に、人の知恵をはるかに越えるあなたの愛が輝き出ます。

み前で栄光をたたえる天使の声に合わせ、ここに集うわたちも感謝の賛歌を歌います。

牧者

聖なる父、全能永遠の神、主キリストによつていつもあなたをたたえ、心から感謝をささげます。

あなたは聖○○○の信仰の模範によつてわたしたちを励まし、その教えを通して導き、取り次ぎによつて神の民を守られます。

あなたをたたえる天使と聖人の歌に声を合わせ、
わたしたちも終わりなく感謝の賛歌を歌います。

声を合わせて賛美の歌を歌います。

年間週日 五（第二奉獻文の叙唱）

聖なる父よ、最愛の子イエス・キリストを通して、いづどこでもあなたに感謝をささげることが、まことにとうとい大切な務め（です）。

あなたはみことばによってすべてを造りになりました。みことばである御子は、救い主、あがない主としてわたしたちに遣わされ、聖霊によって人となり、おとめマリアから生まれ、み旨を果たして、人々をあなたの民とするために、手を広げて苦難に身をゆだね、死を滅ぼして復活をお知らせになりました。

わたしたちは声を合わせて歌います、天使とすべての聖人とともに、あなたの栄光をたたえて。

年間週日 六（第四奉獻文の叙唱）

聖なる父、全能永遠の神、あなたの偉大なわざ

をたたえ、いつも感謝をささげます。

あなたは唯一のまことの神、初めもなく終わりもなく、すべてを越えて光り輝くかた。あふれる愛、いのちの泉、万物の造り主。造られたものは祝福され、光を受けて喜びに満たされます。

数知れない天使は昼も夜もあなたに仕え、栄光を仰ぎ見て絶え間なくほめたたえます。わたしたちはこれに声を合わせ、すべての造られたものもともにあなたをたたえて歌います。

聖人

聖なる父、全能永遠の神、聖人を通して示されたあなたの栄光をたたえ、感謝の祈りをささげます。

あなたは聖人たちの信仰のあかしによって、いつも教会に新しい力を注ぎ、限らない愛を示してください。わたしたちもその模範に励まされ、取り次ぎの祈りに支えられ、信仰の歩みを続けま

年間週日 二

聖なる父、全能永遠の神、いつでも主キリストによつて賛美と感謝をささげることは、まことにとうとい大切な務め（です）。

あなたは人を愛によつて造り、正義に背いて罰せられた民を、あわれみにより主キリストを通してあがなつてくださいました。

神の栄光をたたえ、権能を敬うすべての天使はともに喜び祝い、わたしたちもこれに合わせてつつしんでたたえます。

年間週日 三

聖なる父、全能永遠の神、あなたの偉大なわざをたたえ、いつも感謝をささげます。

あなたはみことばである御子によつて人を造り、御子の死と復活を通して、新しい人としてくださいました。造られたすべてのものはあなたを賛美し、あがなわれた民は喜びにあふれ、救いのわざをたたえています。

わたしたちもすべての天使、聖人とともに、あなたの栄光を仰ぎ、感謝の賛歌をささげます。

年間週日 四

聖なる父、全能永遠の神、主キリストによつて心からあなたをたたえ、感謝をささげます。

キリストの死を思うとき、愛は深められ、復活の信仰はわたしたちを支え、主の来臨の約束はわたしたちを希望で満たします。

あなたをたたえるすべての天使、聖人とともに、

は持つてはならない。どこかの家に入ったら、そこにとどまって、その家から旅立ちなさい。だれもあなたがたを迎え入れないなら、その町を出ていくとき、彼らへの証しとして足についた埃を払い落としなさい。」十二人は出かけて行き、村から村へと巡り歩きながら、至るところで福音を告げ知らせ、病気をいやした。

奉納祈願

聖なる父よ、あなたの民のささげものを顧みてください。この秘跡にあずかるわたしたちが神の靈に強められ、祈り求める恵みを受けることができますように。わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

叙唱 年間週日一―六(109―111ページ)

拝領の歌(歌わない場合は次の拝領唱を唱える)

拝領唱(マタイ6・33参照)

まず、神の国とその義とを求めよ。そうすれば、それに加えて、すべての必要なものが与えられる。

拝領祈願

全能の神よ、いつくしみをもってあなたの民をお守りください。秘跡によつて力づけられたわたしたちが、日々の行いにおいてみ旨を果たすことができますように。わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

にありながらも、わずかに生きる力を授けてくださいました。まことに、わたしたちは奴隷にされています。しかし、わたしたちの神はわたしたちを奴隷のまま捨て去ることなく、ペルシアの諸王がわたしたちに対して好意を抱くようにし、生きる力を与えてくださいました。こうして、ユダとエルサレムでわたしたちの神の神殿を再建し、虚を復興し、城壁を得るようにしてくださいました。」

答唱詩編 Ⅷ 117 ②④ (詩編 130・3+4, 7a+8)

答 主は豊かなあがないに満ち、いつくしみ深い。

あなたが悪に目を留められるなら、
だれがみ前に立てよう。

しかし、あなたのゆるしのために、
人はあなたをおそれとうとぶ。 答

イスラエルよ、イスラエルよ、

主を待ち望め。

主はすべての罪から、

イスラエルを救われる。 答

アレルヤ唱 Ⅶ 553 ④ (マルコ 1・15)、またはⅧ 268 ③

アレルヤ、アレルヤ。神の国は近づいた。回心して福音を信じなさい。アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読 (ルカ 9・1-6)

神の国を宣べ伝え、病人をいやすために十二人を遣わされた

ルカによる福音

「そのとき、」イエスは十二人を呼び集め、あらゆる悪霊に打ち勝ち、病気をいやす力と権能をお授けになった。そして、神の国を宣べ伝え、病人をいやすために遣わすにあたり、次のように言われた。「旅には何も持つて行つてはならない。杖も袋もパンも金も持つてはならない。下着も二枚

入祭唱(詩編19・9、10)

神の定めは正しく、心に喜びをもたらし、
そのみ旨は清く、人々の目を開く。
神のことは正しく、世々に及び、
その裁きは真実で、すべて正しい。

集会祈願

恵み豊かな神よ、あなたを仰ぎ見る民の、心からの
願いを顧みてください。わたしたちが何をなす
べきかを知り、果たすべき使命を全うすることが
できますように。聖霊による一致のうちに、あな
たとともに神であり、世々とこしえに生き、治め
られる御子、わたしたちの主イエス・キリストに
よつて。アーメン。

第一朗読(エズラ9・5-9)

わたしたちの神はわたしたちを奴隷のまま捨て去ることはない

エズラ記

「わたしエズラは、」夕べの献げ物のときになつて、かがめていた身を起こし、裂けた衣とマントをつけたままひざまずき、わが神、主に向かつて手を広げ、祈り始めた。

「わが神よ、御前に恥じ入るあまり、わたしは顔を上げることができません。わたしたちの罪悪は積み重なつて身の文を越え、罪科は大きく天にまで達しています。先祖の時代から今日まで、わたしたちは大きな罪科の中にあります。その罪悪のために、わたしたちは王も祭司もこの地の王の支配下に置かれ、剣にかけられ、捕らわれ人となり、略奪され、辱められてきました。今日、御覽のとおりです。

ところが今、ほんの少し前から、わたしたちの神、主の憐れみにより、わたしたちの幾人かが捕囚を免れて生き残り、あなたの聖なる所によりどころを得るようにされました。こうして、わたしたちの神はわたしたちの目に光を与え、奴隷の身

来たが、群衆のために近づくことができなかった。そこでイエスに、「母上と御兄弟たちが、お会いしたいと外に立っておられます」との知らせがあった。するとイエスは、「わたしの母、わたしの兄弟とは、神の言葉を聞いて行方人たちのことである」とお答えになった。

奉納祈願

全能の神よ、聖ピオの祝日に、あなたの栄光をたたえてささげる教会の供えものを受け入れてください。この秘跡がわたしたちの救いの源となりますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

叙唱 牧者、または聖人（III—III2 ページ）

拝領の歌（歌わない場合は次の拝領唱を唱える）

拝領唱（マタイ 20・28）

人の子は、仕えられるためではなく仕えるため、また、多くの人のあがないとして、自分のいのちを与えるために来た。

拝領祈願

いのちの源である神よ、聖人を記念して主の食卓にあずかったわたしたちの祈りを聞き入れてください。この秘跡の恵みに支えられて、永遠の喜びに入ることができるよう。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

9月24日 水 — 週日・緑

〔朝〕 年間第二十五水曜日（奇数年） 〔祈〕 年間週日①

入祭の歌（歌わない場合は次の入祭唱を唱える）

匹、小羊四百匹をささげ、また全イスラエルのために贖罪の献げ物としてイスラエルの部族の数に従って雄山羊十二匹をささげた。そしてモーセの書に書き記されているとおり、エルサレムにおける神への奉仕のために、祭司たちをその担当の務めによって、レビ人をその組分けによって任務に就かせた。

捕囚の子らは、第一の月の十四日に過越祭を行った。祭司とレビ人は共に身を清めていたので皆清く、捕囚の子ら皆のため、仲間の祭司のため、また彼ら自身のために、過越のいけにえを屠った。

答唱詩編 〔典〕 21②③ (詩編122:3+4 a b, 4 c d+5)

〔答〕 うるわしい神の家、エルサレム、
かべも塔も輝いて立つ。

しげく連なる町、エルサレム、
すべての民のみやこ。

そこにはイスラエルの部族、
神の民がのぼって来る。〔答〕

イスラエルのおきてにしたがい、
神に感謝をささげるために。
そこにはさばきの座、

ダビドの家の座がすえられている。〔答〕

アレルヤ唱 〔ア〕 553③ (ルカ11:28)

〔典〕 270 (31B) を用いることもできる
アレルヤ、アレルヤ。神のことばを聞き、これを
守る人は幸い。アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読 (ルカ8:19-21)

わたしの母、わたしの兄弟とは、神の言葉を聞いて行つ人たちの
ことである

ルカによる福音

〔そのとき、〕イエスのところに母と兄弟たちが

げ、砕かれた心をいやすために、神はわたしに油を注がれた。

集会祈願

全能永遠の神よ、あなたは聖なる司祭ピオをキリストの十字架の恵みにあずからせ、その奉仕をとおして神のいつくしみの偉大さを表してくださいました。聖人の取り次ぎによつて、わたしたちがキリストの受難に固く結ばれ、復活の栄光へと導かれますように。聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々とこしえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

第一朗読 (エズラ 6・7—8、12b、14—20)

捕囚の子らは神殿を完成し、過越祭を行った

エズラ記

「その日、ダレイオス王はユーフラテス西方の

長官たちに命令を下した。」「神殿の工事をさせることにせよ。ユダの長官と長老たちは、かつて神殿があつた場所にその神殿を再建しなければならぬ。この神殿を建てるために、あなたたちがそのユダの長老たちを援助することを、わたしは命ずる。その経費はユーフラテス西方からの税収による国費によつて賄われ、滞りなく正確にそれを彼らに与えよ。わたしダレイオスが、この命令を下す。命令どおり実行せよ。」

ユダの長老たちは、預言者ハガイとイドの子ゼカリヤの預言に促されて順調に建築を進めていたが、イスラエルの神の命令と、ペルシアの王キュロス、ダレイオス、アルタクセルクセスの命令によつて建築を完了した。この神殿は、ダレイオス王の治世第六年のアダル月の二十三日に完成した。イスラエルの人々、祭司、レビ人、残りの捕囚の子らは、喜び祝いつつその神殿の奉献を行った。この神殿の奉献のために雄牛百頭、雄羊二百

9月23日 火 — 記念日・白

聖ピオ(ピエトレルチーナの)司祭

〔朗〕 年間第二十五火曜日(奇数年)

〔祈〕 牧者(司牧者)(集) 聖ピオ(ピエトレルチーナの)司祭

一八八七年、イタリア南部の都市ベネベント近郊のピエトレルチーナ村に生まれる。カプチン・フランシスコ修道会に入会して司祭になり、サン・ジョバンニ・ロトンドの修道院で生涯の大半を過ごし奉仕職に努めた。霊的指導者として信者の告白を聴き、病者や貧しい人々の世話に従事して、神の民のために祈りと謙遜のうちに献身的に働いた。一九六八年九月二十三日に死去。

〔朗〕 ガラテヤ2・19―20、マタイ16・24―27

入祭の歌(歌わない場合は次の入祭唱を唱える)

入祭唱(ルカ4・18)

神の霊はわたしの上にある。貧しい人に福音を告

スタンプ欄

